

定例会見 (平成24年10月31日 16:00~16:50)

議事次第

定例会見 代表取締役社長 菅原 秀夫

会見内容

1. 歩行者立入対策について
2. 道路法違反車両に対する取締強化
3. 山手トンネルにおける温度上昇抑制対策の試験実施結果
4. 第28回首都高速道路交通起終点調査の実施
5. 開通50周年記念事業の展開
6. 最近の通行台数状況
7. 建設事業の進捗状況
8. 技術コンサルティング事業について
9. 海外事業について
10. 関連事業最近の取組み

質疑応答

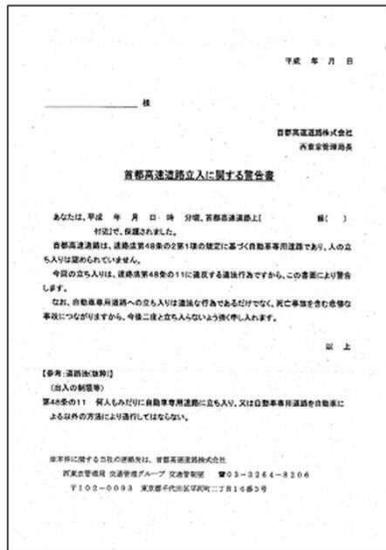
1. 歩行者立入対策について

(1) 歩行者立入の現状と対策会議

- ・平成23年度に首都高速において立入歩行者が関わる死亡事故は3件・3名。平成24年度上半期において当該事故は1件・1名。
- ・立入歩行者事故の増加を踏まえ、平成23年10月から警視庁と「首都高速道路立入者等事故防止対策検討会」を月1回の頻度で開催。また、神奈川県警とも同様の会議を開催。

(2) ソフト対策

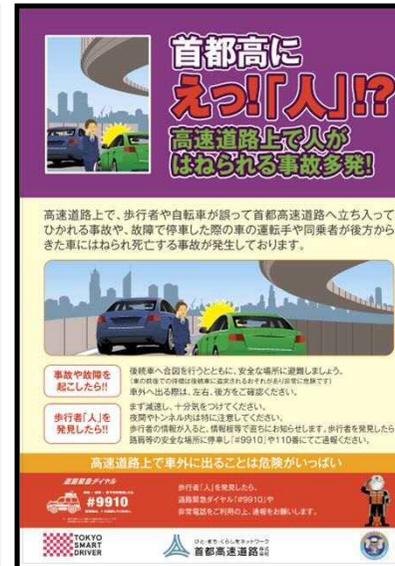
- ・立入者に対する警告書の発行、ポスター掲示、チラシの配布、ホームページへの掲載、文字情報板への掲示を実施



【警告書】



【ポスター】



【チラシ】



【文字情報板】

1. 歩行者立入対策について

(3) ハード対策

・ 立入禁止看板類の設置



【立入禁止看板】



【はいっちゃだめ看板】

・ 進入防止仮柵の設置



【ガードレール巻込加工前】



【ガードレール巻込加工後】

・ 赤「×」LED表示板の設置



【設置状況 薄暮時】

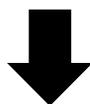


【設置状況 日没後】

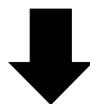
2. 道路法違反車両に対する取締強化

(1) 道路法違反者の告発と書類送検

- ・平成23年9月22日、首都高速4号新宿線においてクレーン落下事故が発生。クレーンを積載していたセミトレーラの車両総重量が約65トンである等、道路法（第47条第2項）の違反車両であることが判明。
- ・事故を起こした滝本運輸株式会社及び運転者は、常習的に道路法の違反を繰り返しており、是正措置を講じたが改善がみられなかったことも判明。



- ・平成24年9月24日、高速道路機構と連名で警視庁高速道路交通警察隊に告発。



- ・平成24年9月26日に道路法等違反の容疑で書類送検。

	総重量	長さ	幅	高さ
一般制限値	20t	12m	2.5m	3.8m
当該車両	64.9t	16.4m	3.3m	2.7m

【道路法違反状況】



【事故現場状況】

2. 道路法違反車両に対する取締強化

(2) 道路法違反者への個別訪問

- ・平成23年度反復違反者に対し、個別訪問して是正指導を実施。

(3) 警察との連携

- ・警察の道路交通法違反（過積載）取締との合同取締を実施。

【警察合同取締実施状況】

年度	警視庁	神奈川県警	埼玉県警	千葉県警	合計
H24上期	24	5	6	1	36
H23	34	7	9	0	50

(4) 他高速道路会社との連携

- ・首都高速道路と接続している他高速道路会社との合同取締を実施。

【他高速道路会社との合同取締実施状況】

日時	高速道路会社	取締実施場所
平成23年11月17日(木)	中日本高速道路(株)	東名高速道路(上り)東京料金所
平成24年5月18日(金)	中日本高速道路(株)	東名高速道路(上り)東京料金所
平成24年6月21日(金)	中日本高速道路(株)	中央道(上り)八王子本線料金所 中央道(上り)八王子料金所
平成24年8月29日(金)	東日本高速道路(株)	東京湾アクアライン(上り)木更津金田TB

【NEXCO東日本合同取締実施状況】



今後とも関係機関と連携を図り、道路法違反に厳正に対処してまいります。

3. 山手トンネルにおける温度上昇抑制対策の試験実施結果について

(1)山手トンネルの試験実施概要

平成22年3月28日の開通後の夏季の温度上昇抑制対策として、積極的に外気をトンネル内に導入する換気運転を実施しているが、更なる温度抑制を目的に、トンネルの本線内にミスト噴霧設備を試験設置して効果を検証。

試験箇所： 山手トンネル 内回り 富ヶ谷出口～大橋JCT間

試験期間： 平成24年7月23日～9月18日

温度低下： -2°C 程度(試算値)

(2)試験実施結果

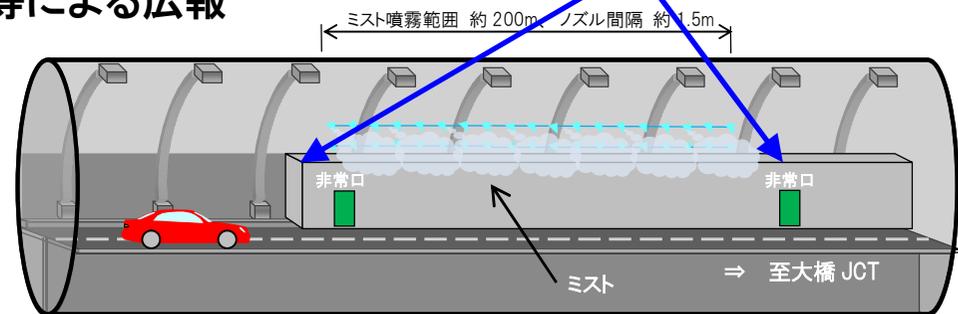
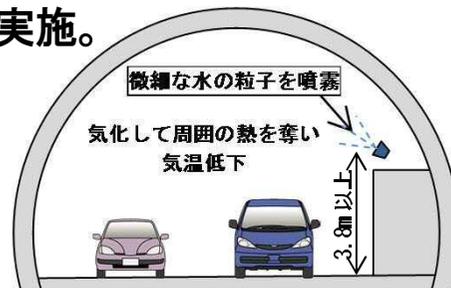
トンネル内を走行する運転者の視環境に問題なく、ミスト噴霧区間の前後で、 -2°C 程度トンネル内温度が低下することを確認。

(3)今後の予定

温度を下げる効率的な換気の運用方法や、今回の試験結果を踏まえたミスト噴霧設備の運用方法を検討中。併せて、温度上昇をお知らせする文字情報板、横断幕等による広報についても引き続き実施。



ミスト噴霧前後で、 -2°C 程度低下



ミスト噴霧設備 噴霧イメージ

4. 第28回首都高速道路交通起終点調査の実施

(1) 調査の目的

- 平成24年1月から移行した距離別料金での首都高速道路の交通実態及び利用特性を把握

(2) 調査概要

- 調査対象: 調査対象期間内に首都高速道路を利用したお客様
- 調査方法: パソコン及び携帯電話によるアンケート調査
- 調査内容: 首都高速道路の利用日時、出発地・目的地、入口・出口・利用経路
回答者の属性(性別、年齢、利用目的、車種、荷物 等)
- 調査期間: **平成24年11月1日(木)～30日(金)の平日**

(3) 調査結果の活用

- 距離別料金移行に伴う影響把握
- 渋滞対策の効果推定のための基礎データ
- 道路情報板の表示内容の検討 等

(4) 調査の広報計画

- ポスターの掲示・調査PRチラシの設置 ⇒ 首都高速道路のPA、NEXCO高速道路のSA・PA
- PRチラシの送付 ⇒ 大口・多頻度利用者、運輸事業者、旅客関係事業者
- 調査PRカードの直接配布 ⇒ 首都高の料金所(現金車)やPA、NEXCO高速道路のSA・PA
- ホームページ等への掲載 ⇒ 首都高速道路、(財)日本道路交通情報センター、ナビタイム
- メール会員への配信やラジオでの広報 等

4. 第28回首都高速道路交通起終点調査の実施

(5) アンケート回答(携帯電話版)の例

① 調査PRカード等のQRコードからアクセス



調査PRカード(実物大)

② 携帯電話でアンケートに回答

設問リスト(全8項目)

1. 利用日時選択
2. 出発地選択
3. 目的地選択
4. 入口選択
5. 出口選択
6. 経路選択
7. 属性情報入力
8. 個人情報

出発地選択画面

経路選択画面

5. 開通50周年記念事業について

首都高は、1962(昭和37)年12月20日に1号線京橋～芝浦間約4.5kmが開通し、本年で開通50周年を迎える。平成24年度は開通50周年の実施期間として、各種イベント等を順次、展開・実施中。

(1)「開通50周年記念 首都高展」の開催

① 目的

首都高開通50周年を機に、これまで首都圏の発展に寄与してきた首都高の役割や今後の首都高の取り組みを多くのお客様にご理解いただくため、人々の暮らしとともにあった「首都高の50年の歩み」とこれまでに培ってきた「首都高の技術」、また「これからの首都高」について、お客様への感謝とともに、首都高利用者をはじめ幅広い層のお客様に伝えることを目的として開催する。

② 主催

開通50周年記念首都高展実行委員会

(首都高速道路株式会社・財団法人首都高速道路協会・一般財団法人首都高速道路技術センター)

③ 一般公開

日時:平成24年12月20日(木)～25日(火)10:00～19:00

場所:東京タワーフットタウン1階「タワーホールA1」(約600㎡)

※ なお、一般公開に先立ち、前日の19日(水)午後(時間未定)にマスコミへの先行公開と併せて記念式典、内覧会等を実施する。

※ 後日、記者発表を予定



5. 開通50周年記念事業の展開

(2) 首都高講座(50周年特別版)の実施

- ・ 首都高がつなぐ「陸」・「海」・「空」のテーマに基づき、首都高と関係のある企業とコラボレーション企画を検討中(第一弾は「空」をテーマに8月23日に実施済)。
- ・ 第二弾として首都高がつなぐ「海」をテーマに12月6日(木)に株式会社シーライン東京とコラボレーションして、「シンフォニーモデルナ号で巡るレインボーブリッジ」を実施する。
- ・ 11月発行の首都高News11・12月号にて15組(30名)を募集予定。

《実施イメージ》 レインボーブリッジとシンフォニーモデルナ号



(3) shutoko members※ 川から見る首都高クルーズ&マリーナパーティー

首都高開通50周年記念事業の一環として9月20日(木)及び9月23日(日)に開催。

○実施内容：

①クルージング

勝どきマリーナ→日本橋川→神田川→隅田川→勝どきマリーナ

②懇親会

勝どきマリーナ内にてヤマハ発動機社員・弊社社員を交え、懇親会

○参加人数：計46名

○協力：ヤマハ発動機株式会社・勝どきマリーナ・ニューポート江戸川

※shutoko membersとは、首都高速道路で、ワクワクすることを楽しむ人たちのこと



《クルージングの様子》



6. 最近の通行台数状況

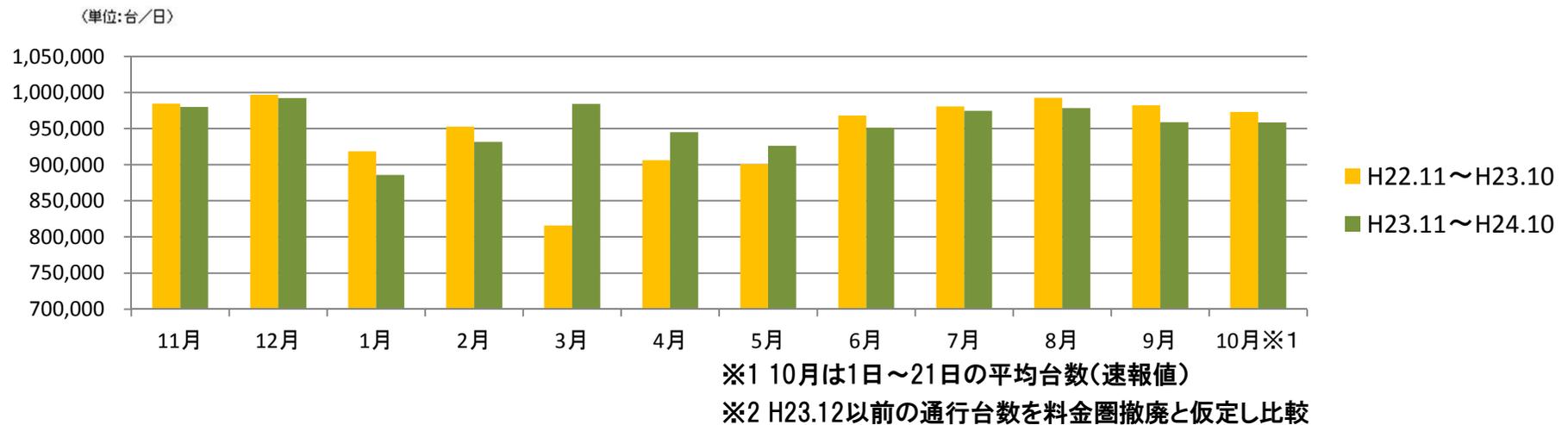
(1) 最近の状況

- ・通行台数はほぼ横ばいであるが、前年同月比では若干下回っている。

	7月	8月	9月	10月※1
通行台数(台/日)	974,563	978,512	958,666	958,295
前年同月比※2	99.4%	98.6%	97.6%	98.5%

(2) 通行台数の推移

- ・若干下回る傾向にあるが、東日本大震災の影響により、3～5月の前年同月比は増加している。



6. 最近の通行台数状況

(3) 距離別料金移行後の交通状況

【速報(7月平日)】

- 料金圏撤廃による利用台数の変化
- 利用台数(旧料金圏境の断面交通量)(平日(月~土))

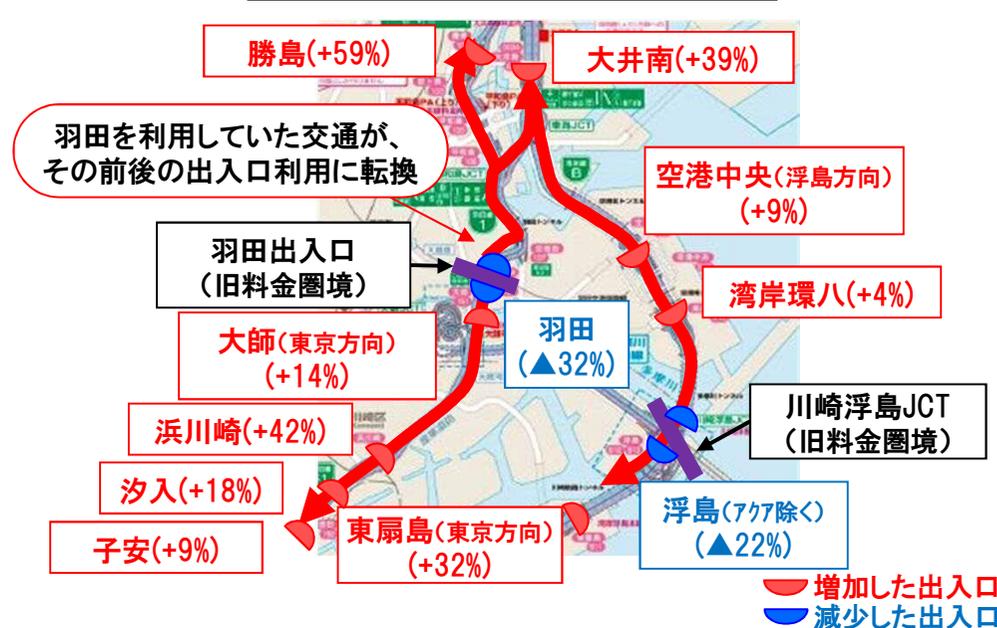
	地点	移行前(H23)	移行後(H24)	対前年比
旧東京線-旧埼玉線 断面	美女木JCT付近	29,400台/日	34,300台/日	+17%
旧東京線-旧神奈川線 断面	羽田および浮島付近(合計)	135,800台/日	148,200台/日	+9%

- 旧料金圏境における交通量の変化(平日)

【旧東京線-旧埼玉線 断面】



【旧東京線-旧神奈川線 断面】



【出典】

車両感知器データ

【移行前(H23.7) : 平成23年7月平日(月~土)平均】

【移行後(H24.7) : 平成24年7月平日(月~土)平均】

7. 建設事業の進捗状況

(1) 中央環状品川線 工事進捗状況

- 本線シールドトンネル：掘進完了し、床版工・内装工等を実施中。
- 五反田出入口部：掘削工事・躯体工事を実施中。
- 大橋連結路：立坑内の躯体構築工を実施中。



7. 建設事業の進捗状況

(2) 横浜環状北線 工事進捗状況

- 用地取得(全843画地)：99%完了(画地ベース、平成24年9月末現在)。
- 本線シールドトンネル(延長5.5km)：約3.4kmまで掘進完了。
- 高架区間：橋脚基礎工及び上部工架設に向けた桁地組工や構台工を実施中。



写真② 本線シールド内
(シールド掘進工、床版工)



写真① 鶴見川沿い
(高架橋の桁地組工)



写真③ 生麦JCT(鉄道交差部)
(高架橋架設のための構台工)



写真④ 生麦JCT
(高架橋のケーソン基礎工)

7. 建設事業の進捗状況

(3) 横浜環状北西線 進捗状況

- 事業の着手にあたり共同事業者の横浜市とともに、「事業説明会」を開催。
(8月29日、30日、9月2日、3日の4回)
⇒ 事業の概要、整備効果、環境対策、今後の事業の進め方等を地元の皆様に説明。
- 今後は線形設計及び用地測量に着手予定。



路線概要

延長:7.1km
完成予定:平成33年度



事業説明会開催状況
(9月3日川和東小学校)

7. 建設事業の進捗状況

(4) 大橋“グリーン”ジャンクション整備

- 大橋換気所屋上自然再生緑地「おおはし里の杜」においてイベント開催。
 - ・田植え(5月31日)・観察会(7月18日)・稲刈り(10月3日)・脱穀(10月16日)
- ジャンクション屋上公園「目黒区立 目黒天空庭園」の現場見学会(10月20日)を目黒区と共催。

おおはし里の杜 稲作体験イベント 目黒区立菅刈小(5年生)が参加



昔ながらの田植え体験



里の杜の自然観察会



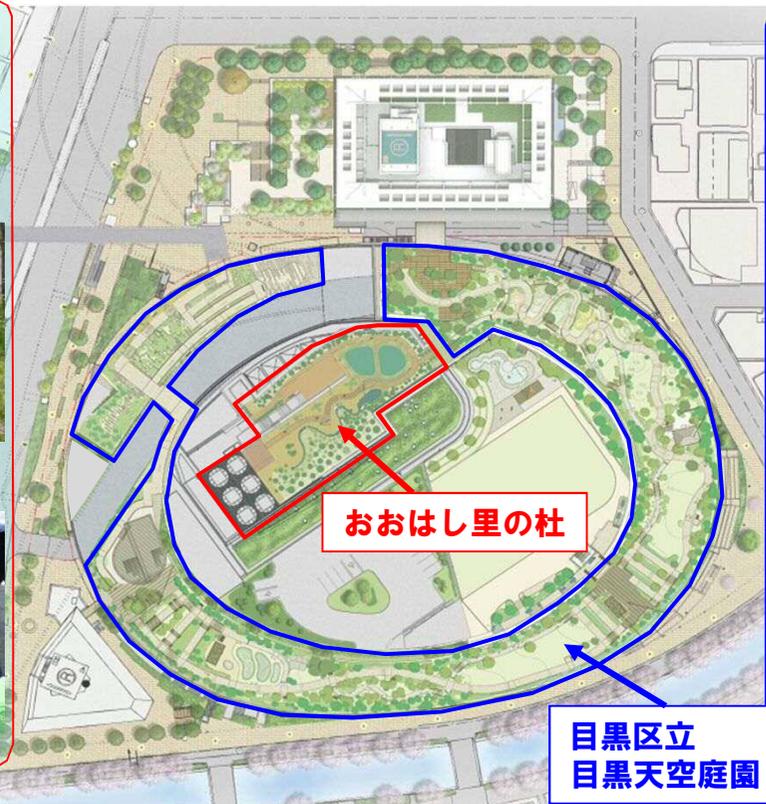
手作業による稲刈り



割り箸を使った脱穀



菅刈小学校主催による収穫祭(10月23日)



完成イメージパース

目黒天空庭園 現場見学会



菅原社長挨拶



地元の方による植栽



記念プレート作り

8. 技術コンサルティング事業の展開について

【平成24年度の首都高グループ新規受注状況】

●国内技術コンサルティング事業 ⇒ 平成24年度新規受注件数 : 9件

(参考 平成23年度新規受注件数 : 17件)

《新規受注状況》 ※下線は前回の会見以降の追加分(8月以降)

件名	発注者	契約者
平成24年度ゲートブリッジ橋梁点検委託	東京都港湾局	(一財)首都高速道路技術センター
平成24年度レインボーブリッジ橋梁点検調査委託	東京都港湾局	
平成24年度PC橋の維持管理のため技術資料検討業務	国土交通省道路局	
平成24年度鋼製橋脚隅角部の補修・補強工法検討業務	福岡北九州高速道路公社	(一財)首都高速道路技術センター ((財)海洋架橋・橋梁調査会とのJV)
H24鋼橋疲労損傷技術資料等作成業務	国土交通省関東技術事務所	
舞浜入路巡回点検業務	浦安市	首都高技術(株)
水神大橋耐震補強詳細及び概略設計	東京都建設局	
橋梁健全度調査等委託	中央区	
H24管内橋梁点検(その1)業務	国土交通省常陸河川国道事務所	首都高技術(株) (八千代エンジニアリング(株)とのJV)

●建物耐震診断業務 ⇒ 平成24年度新規受注件数 : 8件

マンション : 3件、事務所・店舗ビル : 5件

(参考 平成23年度新規受注件数 : 4件)

9. 海外事業について

新たな技術協力覚書の締結

この夏新たにタイ国のバンコク高速道路株式会社（BECL）及びタイ国のドンムアン有料道路株式会社（DMT）と、交通管制や維持管理の技術協力に関する覚書を締結。

覚書締結日	覚書締結先国	覚書締結先
平成24年7月18日	タイ	・バンコク高速道路株式会社（BECL）
平成24年8月30日	タイ	・ドンムアン有料道路株式会社（DMT）



写真：DMTとの覚書締結（平成24年8月30日）
（DMTターニン社長（左）、弊社菅原社長（右））

【参考】
過去に締結済みの覚書

覚書締結日	覚書締結先国	覚書締結先
平成21年8月24日	カンボジア	・公共事業運輸省
平成22年4月7日	タイ	・タイ高速道路公社（EXAT）
平成22年6月15日	インドネシア	・ジャサマルガ社（有料道路会社） ・アストラテル社（インフラ投資会社）

10. 関連事業最近の取組み

首都高で働く車を玩具等で商品化

玩具メーカーと協同で当社で活躍している道路パトロール車を商品化。
幅広い層に対する、ブランドイメージの向上を目指す。



- 商品名：VooV シリーズ[玩具]
FR11 トヨタ ランドクルーザー～道路パトロール車
- 発売元：(株)バンダイ
- 販売価格：525円(税込)
- 発売時期：平成24年9月15日



参考：第1弾

食玩メーカーと協同で商品化

- 商品名：日本の働く車シリーズ(全7種) [食玩]
首都高関連車種
- ① 取締車両(日産シビリアン)
- ② 車両運搬車(日野スペースレンジャー)
- 製造販売者：(株)エフトイズ・コンフェクト
- 販売価格：599円(税込)
- 販売時期：平成24年4月23日

①



②



パッケージ



全7種類+